

## 令和2年度 ゼミ学生等地域貢献推進事業 助成対象研究課題一覧

| 市町名                     | 地域課題（指定課題）＝自由課題より優先して採択されます                                   |
|-------------------------|---|
| 下田市                     | 散歩したくなる商店街のデザインの提案  |
| 河津町                     | 伊豆縦貫自動車道新IC周辺（予定地）の地域振興のための提案                                 |
| 伊豆市                     | ジオの市民への浸透に向けた取組とジオサイトの有効活用策の提案                                |
| 伊豆市                     | 「伊豆市ファンの獲得へ」 "#伊豆市いいね"を活用した取組みの提案                             |
| 伊豆の国市                   | 伊豆の国市の地域資源を活用した周遊プランの作成                                       |
| 三島市                     | 「デザイン×ICT×共創」による地域課題解決プロジェクト                                  |
| 裾野市                     | 2020教育改革に対応するための新たな保幼小連携プロジェクト                                |
| 小山町                     | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会レガシーの創出提案                             |
| 富士市                     | 富士市におけるテレワークの可能性について<br>(サテライトオフィス・コワーキングスペースの効果的な誘致施策の調査・研究) |
| 富士市                     | 「まちなかにぎわい創出事業」への参画及び提言  |
| 富士宮市                    | リピート型交流資源の磨き上げによる関係人口創出事業                                     |
| 富士宮市                    | 富士宮産牛乳の富士宮ブランドを確立するための販売拡大及び宣伝手法について                          |
| 静岡市                     | 過疎地でもできる！イベントによる地域活性化   |
| 静岡市                     | 草薙駅周辺地区のまちづくりに係る広報啓発資料等の作成                                    |
| 焼津市                     | 在住外国人のための日本語学習及び日本文化理解促進について                                  |
| 藤枝市                     | 東海道藤枝宿商店街活性化ブランディング戦略検討                                       |
| 川根本町                    | 古文書整理 地域資源としての古文書を考える   |
| 川根本町                    | 家庭や地域にある果樹を用いた地域創生  |
| 島田市                     | 住民主体による公園整備のデザインの提案   |
| 島田市                     | 観光資源である蓬萊橋周辺の水環境改善に向けた方策の研究                                   |
| 菊川市                     | 小・中学生の地域での防災活動（訓練）への参画  |
| 掛川市                     | 掛川手織葛布の情報発信に向けた若者からの提言  |
| 浜松市                     | 浜松市天竜区佐久間町における地域づくりの方策の研究                                     |
| 浜松市                     | 春野町における民間口承文化財（昔話）の伝承による地域文化の保存継承                             |
| 静岡県                     | 港湾浚渫物の有効利用について  |
| 静岡県                     | 男女共同参画の視点から地域活動（防災・自治会等）を活性化させるための方策の研究                       |
| 静岡県行政書士会                | 外国人住民との共生社会をどのように構築するか  |
| (公財)法人静岡県舞台芸術センター(SPAC) | 舞台芸術公園の舞台芸術のテーマパークとしての可能性                                     |
| 静岡トヨタ(株)                | 若者のライフスタイルとクルマの未来   |
| (株)日本経済新聞社              | 対面営業とデリバリー機能を備えた地域ステーションとしての新聞販売店の可能性について                     |
| (株)日本経済新聞社              | 学生と企業のミスマッチをなくす魅力的な就職活動のあり方                                   |
| 課題提案者                   | 自由課題  |
| 富士市                     | 富士市内企業の人材不足解消のために行う効果的な施策について                                 |
| 富士宮市                    | 地方都市でのちょうどいい生活スタイルの研究   |
| (株)日本経済新聞社              | キャリア教育、グローバル教育における新聞の果たす役割                                    |
| 静岡市                     | 井川地区における水耕栽培モデルの探索  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                    |      |      |
|--------|--------------------|------|------|
| 自治体名   | 下田市                | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 散歩したくなる商店街のデザインの提案 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 下田市では、人口の減少や後継者不足による空き店舗の増加、商店街を歩いて楽しむ人の減少により、町の活気が失われつつある。市として、空き店舗の対策を行いながら、商店街を市民や観光客が交流する場と位置付け、人が歩きたくなくなるような仕組みをつくる必要がある。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 市民や観光客が散策、交流を目的として立ち寄ることができる商店街のデザインの具現化に向けた提案<br>(商店街の地理的、歴史的特徴を活かした統一的なデザインコンセプト及びデザインの実現に向けた事業)                             |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 下田市関係各課<br>下田市商店会連盟 等  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 現地調査の調整<br>関係団体等との調整 等   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |                         |           |  |
|--------------|-------------------------|-----------|--|
| 大学           | 静岡文化芸術大学                | 学部等       | 大学院デザイン研究科   |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 寒竹伸一研究室、磯村克郎研究室(磯村克郎教授) | 連絡先E-mail | <a href="mailto:k-isom@suac.ac.jp">k-isom@suac.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 統合政策課 政策推進係  |
| 電話番号    | 0558-22-2212   |
| E-mail  | <a href="mailto:tougou@city.shimoda.lg.jp">tougou@city.shimoda.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 参事 加藤 克寿   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                               |      |      |
|--------|-------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 河津町                           | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 伊豆縦貫自動車道新IC周辺(予定地)の地域振興のための提案 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 河津町には、河津桜や河津七滝等の優れた観光資源があるものの、年々観光客の減少が続いている。一方で県東部地域は、伊豆半島ジオパークの世界ジオパーク認定や伊豆市において2020東京オリンピックの自転車競技が開催される等、国内外から注目が高まっている。<br>こうした中、本町の山間部においては、伊豆縦貫自動車道の河津IC(仮称)、逆川IC(仮称)の整備・開設が予定されており、これを契機に河津町の魅力を国内外に発信し、交流人口の拡大を図ることが期待される。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 日大生が平成30年度から令和元年度に掛けて調査研究し、作成した観光マップについて、実際に利用した観光客等からの反応や観光事業者等の意見を集約し、マップの内容を更新して、より良いものに仕上げていく。   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 町観光協会<br>地元自治会<br>河津町関係各課  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 所有施設等(会議室等)の無償使用<br>関係団体の紹介<br>資料等の提供 他  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |           |            |  |
|--------------|-----------|------------|--|
| 大学           | 日本大学      | 学部等        | 国際関係学部 国際総合政策学科  |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 宍戸 学・松浦康世 | 連絡先 E-mail | <a href="mailto:shishido.manabu@nihon-u.ac.jp">shishido.manabu@nihon-u.ac.jp</a><br><a href="mailto:matsuura.michiyo@nihon-u.ac.jp">matsuura.michiyo@nihon-u.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 企画調整課 企画調整係  |
| 電話番号    | 0558-34-1924   |
| E-mail  | <a href="mailto:kikaku@town.kawazu.shizuoka.jp">kikaku@town.kawazu.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 平川 直也  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                                |      |      |
|--------|--------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 伊豆市                            | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | ジオの市民への浸透に向けた取組とジオサイトの有効活用策の提案 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 伊豆半島ジオパークはH30年4月に世界ジオパークとして認定され、伊豆半島ジオパーク推進協議会を中心に関係市町が連携した取り組みを進めている。また認定後も4年に1度の再審査をうける必要があり、伊豆半島ジオパークもR4年に審査を予定している。市としても、市民向けのジオツアーやジオ検定、出前講座の実施による意識啓発のほか、ジオガイドの養成等の取り組みを進めている。今後の認定更新を見据えて、市民に向けた意識啓発の更なる強化、ジオサイトの有効活用と発信強化に努めていく必要がある。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 市民向けの意識啓発として、地域住民(子ども～お年寄り)に対して地域資源である「ジオ」を身近に感じられる機会の創出を期待する。また、市内のジオサイトに着目し、有効活用によって認知度の向上につなげていくための活性化策の提案を期待する。   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯ヶ島地区地域づくり協議会</li> <li>・伊豆半島ジオパーク推進協議会</li> <li>・伊豆市観光協会天城支部</li> <li>・天城湯ヶ島温泉旅館協同組合</li> </ul>   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用(市民活動センター等)</li> <li>・関連団体との連絡及び調整</li> <li>・宿泊先の案内</li> <li>・メディアへのプレスリリース</li> </ul>   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |      |            |  |
|--------------|------|------------|--|
| 大学           | 静岡大学 | 学部等        | 理学部 生物科学科  |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 徳岡 徹 | 連絡先 E-mail | <a href="mailto:tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp">tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 総合政策部 総合戦略課  |
|         | 産業部 観光商工課  |
| 電話番号    | 0558-72-9873   |
|         | 0558-72-9911   |
| E-mail  | <a href="mailto:seisaku@city.izu.shizuoka.jp">seisaku@city.izu.shizuoka.jp</a> |
|         | <a href="mailto:kanko@city.izu.shizuoka.jp">kanko@city.izu.shizuoka.jp</a>     |
| 2年度担当者  | 主事 飯塚 拓也   |
|         | 主査 杉本 弓弦   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                                  |      |      |
|--------|----------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 伊豆市                              | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 「伊豆市ファンの獲得へ」"#伊豆市いいね"を活用した取組みの提案 |      |      |

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 課題の概要<br>(背景や理由等)                 | 伊豆市の魅力や様々な施策の情報等が市内外に十分に発信されておらず、市のイメージアップにつながっていない点を改善するため、総合計画・総合戦略に基づく戦略的シティプロモーションの一環として、個人も主役として情報発信ができるSNSを活用し、伊豆市の自慢を共通ハッシュタグ「#伊豆市いいね」をつけて発信していく取組みを計画している。   |
| 希望する調査研究内容や期待すること                 | "#伊豆市いいね"の活用によって伊豆市ファンの獲得とイメージ向上を図るため、「移住定住」・「子育て」・「教育」・「オリンピックレガシー」・「観光」などのテーマから希望するものをいくつか選択し、テーマごとの情報収集や関係各所との意見交換、フィールドワーク等を踏まえ、"#伊豆市いいね"の普及啓発を図るための取組みや、伊豆市ファンの獲得につなげるための"#伊豆市いいね"を活用したアイデアの提案を期待する。  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等                | <ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆市(秘書室/総合戦略課/こども課/観光商工課など)</li> <li>⇒移住定住、子育て、観光等のテーマに関する情報収集や意見交換</li> <li>子育てマガジンを発行する有志の母親グループ</li> <li>FMS(コミュニティFM)</li> <li>⇒伊豆市公式SNSアカウントを市の委託により運営</li> <li>(一社)伊豆市産業振興協議会(伊豆市/伊豆市観光協会/伊豆市商工会/JA伊豆の国)</li> <li>⇒観光誘客につながるプロモーション、観光企画・産業振興に取組む地域DMO法人</li> </ul> |
| ゼミ等に対して可能な支援<br>(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用</li> <li>関連団体との連絡調整</li> <li>宿泊先の案内</li> <li>メディアへのプレスリリース など</li> </ul>  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |   |
|---------|---|
| 所属(課、係) | 総合政策部 総合戦略課   |
|         | 総合政策部 秘書室   |
| 電話番号    | 総合戦略課:0558-72-9873 秘書室:0558-72-1187   |
| E-mail  | <a href="mailto:seisaku@city.izu.shizuoka.jp">総合戦略課:seisaku@city.izu.shizuoka.jp</a> <a href="mailto:hisyo@city.izu.shizuoka.jp">秘書室:hisyo@city.izu.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 総合戦略課 主事 飯塚 拓也  |
|         | 秘書室 主事 鈴木 勇翔  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                         |      |      |
|--------|-------------------------|------|------|
| 自治体名   | 伊豆の国市                   | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 伊豆の国市の地域資源を活用した周遊プランの作成 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催や、2022年NHK大河ドラマのテーマが当市にゆかりのある「北条義時」に決まったことにより、市内には、多くの観光客が訪れることが想定される。当市は、首都圏からのアクセスも良いが、通り道となってしまうのではなく、市内の温泉・史跡・観光農園等を周遊してもらい、どのように長時間滞在・宿泊に結びつけていくかが求められる。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 既存の伊豆の国市の課題、見落としている地域資源などを整理し、観光客と地域住民が共存共栄を図れるまちづくりに向けたアイデアを、若者の視点と、客観的なデータをもとに提示してもらいたい。特に、伊豆長岡温泉を中心とした温泉街や史跡、その他観光施設を巡るいくつかの周遊プランの提示など、地域活性化のきっかけとなる調査研究になることを期待する。                |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | ・伊豆の国市観光協会・伊豆長岡温泉旅館協同組合・伊豆長岡温泉場通り振興会  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | ・フィールドワークのコーディネート・会議室の貸与・関係団体の紹介  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |              |           |  |
|--------------|--------------|-----------|--|
| 大学           | 日本大学         | 学部等       | 国際関係学部国際総合政策学科   |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 矢嶋ゼミ(矢嶋敏郎先生) | 連絡先E-mail | <a href="mailto:yajima.toshiro@nihon-u.ac.jp">yajima.toshiro@nihon-u.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 観光文化部 観光課  |
| 電話番号    | 055-948-1480   |
| E-mail  | <a href="mailto:kankou@city.izunokuni.shizuoka.jp">kankou@city.izunokuni.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 山田 大貴  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                              |      |      |
|--------|------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 三島市                          | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 「デザイン×ICT×共創」による地域課題解決プロジェクト |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒト、モノ、カネが縮小傾向にある中で、住民にとってより良い社会の実現を図っていくには、ICTの活用が必要であり、三島市ではスマート自治体を推進中</li> <li>・各種行政サービス、情報発信等におけるデジタル化や産学官民のデータ利活用等を推進するとしているが、サービス設計においては、住民や利用者の目線に立ち、住民の想いや行動に対応していくことが極めて重要</li> <li>・それには、従来の行政主導ではなく、市民協働や共創のプロセスが必要で、より一層、まちづくりへの主体的な住民参画が求められており、現在作成中の総合計画でも共創による課題解決方法の模索は重要なテーマとなっている。</li> <li>・具体的には、住民をはじめ、産学官民の多様な主体が参画する中、ICTとデザイン的な思考によるサービス設計の検討を行う「ICT×デザイン×共創」の取組みが望まれる。</li> <li>・サービス設計や課題解決をデザインすることは、持続的な社会の実現を目指す上で欠かせない視点であり、今後、地域に縁のあるデザイナーが地域で活躍していく場面が増えて行くと思定</li> <li>・デザイン専攻の学生に関わってもらうことで、若い段階から地域との接点を作ることができ、市に愛着のあるデザイナーの育成に繋がるため、市にとっては非常に有意義</li> <li>・一方で、学生にとっても、地域で活動する団体等と一緒にサービス設計や社会課題解決を模索する体験は、職業体験インターンシップとは異なり、実際のビジネスの中に入り込む貴重な機会であるため、生きた学びとなると考える</li> </ul> |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決、協働、共創のプロセスのビジュアル化(グラフィックレコーディング)</li> <li>・同世代の若者への効果的な情報発信方法の検討</li> </ul>  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Code for ふじのくに</li> <li>・ICTを活用したまちづくりに関する協定締結団体</li> </ul>   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室の貸与</li> <li>・関係団体、地域情報化アドバイザーとのマッチング</li> <li>・メンターとなる市職員の派遣・同行</li> </ul>  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |        |               |      |
|--------------|--------|---------------|------|
| 大学           | 常葉大学   | 学部等           | 造形学部 |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 安武信朗先生 | 連絡先<br>E-mail |      |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 企画戦略部政策企画課、財政経営部市税収納課  |
| 電話番号    | 055-983-2698、055-983-2760  |
| E-mail  | tsuchiya2085@city.mishima.shizuoka.jp<br>hara2240@city.mishima.shizuoka.jp |
| 2年度担当者  | 土屋 滋俊、原 礼敏   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                                |      |      |
|--------|--------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 裾野市                            | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 2020教育改革に対応するための新たな保幼小連携プロジェクト |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 2020年に改訂される学習指導要領において、今後重視されていく学力観の基礎となる論理構成力や分析力、文章表現力、読解力、複眼的思考等は、幼少期の能力に端を発している。<br>初等教育以降の学校教育と就学前教育が抱える問題の根幹は同じであることから、問題意識を教育及び保育関係者間で共有し、教育改革への対応の一助としたい。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 当市の課題は、就学前、初等、中等各教育機関の連携が不十分な点。<br>各教育機関間と市民の連携を図る場を設け、運営するなかで、参加者の学力観の変化および地域の教育への関心や積極的支援の意思形成への効果を調査し、次年度以降の事業の拡張可能性を検討する                                     |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | ・市内の公立幼稚園、保育園、小学校  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | ・勉強会等行うための施設の提供<br>・関係者への広報活動<br>・参加の呼びかけ  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |                      |               |                           |
|--------------|----------------------|---------------|---------------------------|
| 大学           | 常葉大学                 | 学部等           | 保育学部                      |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 山本 睦 ゼミ<br>(山本 睦 教授) | 連絡先<br>E-mail | c-natsu@sz.tokoha-u.ac.jp |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 所属(課、係) | 企画政策課                          |
| 電話番号    | 055-995-1804                   |
| E-mail  | kikaku@city.susono.shizuoka.jp |
| 2年度担当者  | 井伊 亮仁                          |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                                   |      |      |
|--------|-----------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 小山町                               | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会レガシーの創出提案 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 小山町は、東京2020大会自転車競技の開催地であり、オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化やレガシーの創出が求められている。   |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | ・大会開催による効果・影響の分析評価<br>・来町者、沿道観戦者、町民等へのモニタリング<br>◎上記を踏まえた、小山町らしいレガシーの提案 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 小山町オリンピック・パラリンピック推進局<br>東京2020オリンピック・パラリンピック小山町開催支援協議会 ほか              |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与、関連団体の紹介、コミュニティライブサイトでのモニタリングブース設置<br>ほか                         |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | オリンピック・パラリンピック推進局  |
| 電話番号    | 0550-70-3355   |
| E-mail  | <a href="mailto:olypara2020@fuji-oyama.jp">olypara2020@fuji-oyama.jp</a> |
| 2年度担当者  | 渡邊理絵   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |   |      |      |
|--------|---|------|------|
| 自治体名   | 富士市   | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 富士市におけるテレワークの可能性について<br>(サテライトオフィス・コワーキングスペースの効果的な誘致施策の調査・研究) |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | ICTを利用し、時間や場所を有効に活用できるテレワークは、「人口減少時代における人材確保」や「地方創生」に寄与し、「働き方改革」にも有効な手段として期待されている。これまで製造業工場誘致を積極的に行ってきた本市にとって、テレワークオフィス立地の需要、誘致の可能性、有効性があるか、また、企業にテレワークを行っていただくために必要な環境整備は何か等について、調査、研究を依頼したい。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市におけるサテライトオフィス・コワーキングスペースの需要動向</li> <li>・本市にふさわしいテレワークオフィスの形態</li> <li>・本市へのテレワークを誘致するターゲット設定</li> <li>・その他本市に馴染む、又はふさわしい、オフィス誘致施策の検討</li> </ul>      |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士商工会議所</li> <li>・富士市商工会</li> <li>・富士市産業支援センターf-Biz</li> </ul>   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室の貸与</li> <li>・オフィス立地・誘致候補物件の案内(富士駅南再開発ビル・旧水道庁舎)</li> <li>・本市職員が以前訪問した、テレワークに関するソリューションを有する企業の紹介</li> </ul>  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 産業政策課 誘致担当   |
| 電話番号    | 0545-55-2906   |
| E-mail  | <a href="mailto:sa-sangyou@div.city.fuji.shizuoka.jp">sa-sangyou@div.city.fuji.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 未定   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                        |      |      |
|--------|------------------------|------|------|
| 自治体名   | 富士市                    | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 「まちなかにぎわい創出事業」への参画及び提言 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士市には富士本町商店街を中心とする「富士地区」と吉原商店街を中心とする「吉原地区」の2つの中心市街地があるが、郊外の大規模集客施設やネット通販の普及等に伴い商業機能が低下しているほか、空きビル・空き店舗が点在している。</li> <li>・その対策として、イベントの開催や空き店舗の活用促進、また、平成17年度に「富士TMO」が組織され、富士商店街については「健康」、吉原商店街については「吉原宿の再生と商店力の向上」をテーマに取り組を行っている。</li> <li>・令和2年度には「まちなかにぎわい創出事業」を実施し、中心市街地におけるにぎわい創出の可能性について検討をしていく予定である。</li> </ul> |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <p>最近では、外国人来訪者の増加によるゲストハウスの設置や新鋭の現代アーティストが創作活動を行うなど、新しい動きも見られるようになった。</p> <p>中心市街地の活性化のためには、人が集い、交流できる環境づくりが重要であると考えており、にぎわいを創出するための可能性(テーマやコンテンツなど)について、若者の視点で提言をいただきたい。</p> <p>例:外国人に優しいまち、高齢者が安心して暮らせるまち、現代アートがあふれるまち など</p>   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 富士本町商店街<br>吉原本町商店街<br>富士TMO(富士健康印商店会、タウンマネジメント吉原)   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 同上  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |  |           |  |
|--------------|--|-----------|--|
| 大学           |  | 学部等       |  |
| ゼミ・団体名(担当教員) |  | 連絡先E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 富士市産業経済部商業労政課                              |
| 電話番号    | 0545-55-2907                               |
| E-mail  | takabayashi_motoi@sc.city.fuji.shizuoka.jp |
| 2年度担当者  | 統括主幹 高林基                                   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                           |      |      |
|--------|---------------------------|------|------|
| 自治体名   | 富士宮市                      | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | リピート型交流資源の磨き上げによる関係人口創出事業 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 本市は、①ふるさと納税、②朝霧JAMへの来場者、③キャンプ場への観光客などの”リピート型交流資源”という地域外の多くの人との関係を築ける土壌がある。この関係を最大限活用し、まずは本市に興味を持っていただいた方々を中心にファンクラブを創設し、リピート型の交流人口を関係人口に引き上げ、最終的に移住・定住へ結びつける事業を実施する予定である。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | リピート型の交流人口を関係人口に引き上げるため、市の施策(ふるさと納税寄付者アンケート&ファンミーティング、E-BIKEによる回遊など)の検証や、ファンクラブ創設、首都圏への情報発信などについて、若者目線での提案を期待する。  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 富士宮市観光協会<br>E-BIKEレンタル施設事業所<br>移住定住推進地区(稲子地区、猪之頭地区、青木平地区)<br>朝霧JAM実行委員会   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 所有施設の無償使用(会議室等)<br>上記団体等への紹介  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 企画戦略課 地域政策推進室  |
| 電話番号    | 0544-22-1215   |
| E-mail  | <a href="mailto:kikaku@city.fujinomiya.lg.jp">kikaku@city.fujinomiya.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 磯 貴紀   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                                      |      |      |
|--------|--------------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 富士宮市                                 | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 富士宮産牛乳の富士宮ブランドを確立するための販売拡大及び宣伝手法について |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 富士宮市は県内有数の酪農地域であり、平成30年度から酪農家たちが立ち上げた小中学校の学校給食牛乳の会社では、100%富士宮産の牛乳を子どもたちへ提供しています。この牛乳の最大のこだわりは、おいしさを残す殺菌方法であり、時間と手間をかけて、牛乳のたんぱく質の破壊を抑え、「牛乳の焦げ臭さ」を抑えています。その高品質な牛乳のブランドを確立し、販売拡大に結び付け、富士宮産牛乳をPRしていきたいと考えています。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 富士宮産牛乳とその生乳を使った飲むヨーグルト等を更に市・県内外へ宣伝し、販売力を高める方法についての調査研究   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 富士の国乳業株式会社、富士宮市産業振興部農業政策課畜産・養鱒係、食のまち推進室、富士宮農業協同組合  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与や関連団体の紹介、酪農家視察等  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 富士宮市産業振興部農業政策課食のまち推進室  |
| 電話番号    | 0544-22-1691   |
| E-mail  | <a href="mailto:food@city.fujinomiya.lg.jp">food@city.fujinomiya.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 野毛裕紀子  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                       |      |      |
|--------|-----------------------|------|------|
| 自治体名   | 静岡市                   | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 過疎地でもできる！イベントによる地域活性化 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | ①高齢化・過疎化が加速している井川地区において、関係人口・交流人口の増加は重要課題である。豊かな自然や山里の文化が魅力的な地域であるが、誘客事業に従事できる人手が足りていない。<br>②井川支所ではこうした地域課題をカバーするべく、所管の「井川湖渡船」「廃線小路」を活用した誘客イベントを実施しているが、マンネリ化により、リピーターが客離れする恐れがある。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 令和2年11月15日(日)実施予定の「井川湖渡船祭り」の企画・運営補助<br>・過疎地でも実施可能な規模、労力での誘客事業を提案<br>・井川地区の観光資源、土産物の掘り起こし<br>・若者ならではの発想によるPR  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 井川観光協会、井川振興会、井川農林産物加工センター、井川自治会連合会 等   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 井川湖渡船祭りの開催準備、関連団体の紹介及び連絡補助、資料提供、会議室の貸与、宿泊施設の紹介   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 井川支所(住民生活係)  |
| 電話番号    | 054-260-2211   |
| E-mail  | <a href="mailto:ikawa@city.shizuoka.lg.jp">ikawa@city.shizuoka.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 上治 祐佳子   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                            |      |      |
|--------|----------------------------|------|------|
| 自治体名   | 静岡市                        | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 草薙駅周辺地区のまちづくりに係る広報啓発資料等の作成 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 草薙駅周辺地区のまちづくりは、まちづくり組織として「草薙カルテッド」が活動を実施している。しかし、地区のアンケート調査の結果では、草薙カルテッドの認知度が低く、地域の愛着度があまり高くないことが判明した。<br>そこで、草薙カルテッドの活動内容や地区の特徴などを知ってもらうため、地区内外のすべての人が興味を持つことのできる広報啓発資料の作成が必要となっている。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 草薙の特性や将来像をまちづくり活動を実施している団体や行政等と連携して調査・研究を進め、広報啓発活動を実施する資料を作成する。   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 【団体等】<br>一般社団法人 草薙カルテッド(都市再生推進法人)<br>草薙駅周辺まちづくり検討会<br>JR草薙駅南口グランドデザイン研究会  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 【可能な支援】<br>草薙東西自治会館等の貸与<br>一般社団法人 草薙カルテッドの紹介  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |       |            |  |
|--------------|-------|------------|--|
| 大学           | 常葉大学  | 学部等        | 造形学部造形学科   |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 土屋 和男 | 連絡先 E-mail | <a href="mailto:tsuchiya@sz.tokoha-u.ac.jp">tsuchiya@sz.tokoha-u.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 清水駅周辺整備課 駅周辺計画係  |
| 電話番号    | 054-354-2018   |
| E-mail  | <a href="mailto:smz-ekiseibi@city.shizuoka.lg.jp">smz-ekiseibi@city.shizuoka.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 高野 覚   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                              |      |      |
|--------|------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 焼津市                          | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 在住外国人のための日本語学習及び日本文化理解促進について |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 本市の在住外国人数は、令和2年1月末現在で、4,482人で、5年前と比較して約1.5倍となっている。また、令和元年4月に入管法が改正され新たな在留資格が創設されるなど、今後ますます増加することが考えられる。在住外国人と日本人が地域で安心して暮らすためには、在住外国人が日本語や日本の文化について理解を深める必要がある。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住外国人の日本語学習状況調査</li> <li>・課題の洗い出し</li> <li>・日本語学習及び日本文化理解促進事業の実施</li> </ul>   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼津日本語教室</li> </ul>  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室の貸与</li> <li>・市関係部局との調整</li> <li>・イベント等開催支援</li> </ul>   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |         |            |                                |
|--------------|---------|------------|--------------------------------|
| 大学           | 静岡大学    | 学部等        | 教育学部                           |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 杉崎 哲子教授 | 連絡先 E-mail | sugizaki.satoko@shizuoka.ac.jp |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 所属(課、係) | 市民協働課 多文化共生担当          |
| 電話番号    | 054-626-2191           |
| E-mail  | kyodo@city.yaizu.lg.jp |
| 2年度担当者  |                        |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                         |      |      |
|--------|-------------------------|------|------|
| 自治体名   | 藤枝市                     | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 東海道藤枝宿商店街活性化ブランディング戦略検討 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 旧東海道藤枝宿エリアには6つの商店街が存在しているが、事業主の高齢化による廃業等により店舗数が減少しており、各商店街単位で実施しているイベント等が縮小・廃止の傾向にあるなど、活力が失われつつあり、エリア全体として今後の戦略を検討し将来計画としてまとめたいため、学生の目線での意見を聞きたい。                   |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 旧東海道藤枝宿エリアの<br>○大学生から見て魅力を感じる店舗の発掘<br>○若手(及び女性)事業主への商店街の将来展望等の意向調査<br>○若手(及び女性)事業主の意向を反映した藤枝宿商店街エリアの既存商店街の枠に縛られないブランディング戦略の検討<br>※令和2年9月末までに報告の概要をいただきたい(計画に反映するため) |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 地域おこし協力隊員(商店街担当)、<br>藤枝商工会議所 青年部、<br>藤枝宿エリア6商店街組合(若手事業者の推薦等)  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与、<br>関連団体の紹介及び連絡調整、<br>ゼミ内検討会等への地域おこし協力隊員や市職員参加   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |        |            |  |
|--------------|--------|------------|--|
| 大学           | 静岡産業大学 | 学部等        |  |
| ゼミ・団体名(担当教員) |        | 連絡先 E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 商業観光課  |
| 電話番号    | 054-643-3078   |
| E-mail  | <a href="mailto:sho-kan@city.fujieda.shizuoka.jp">sho-kan@city.fujieda.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 岡本   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                       |      |      |
|--------|-----------------------|------|------|
| 自治体名   | 川根本町                  | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 古文書整理 地域資源としての古文書を考える |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 川根本町千頭の殿岡家には、川根地域の発展に貢献した殿岡嗽石～とおかそうせき～(1851～1933年)によって蓄積された文書を中心に約4,000点、本川根町史の編集時に調査された文書が約3,000点保管されている。<br>これらの大量の古文書は、地域の歴史・産業・生活を知るうえで重要なものと考えられるが、町で地域資源としての価値を判断するのは困難である。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | (希望する研究内容)殿岡家が所蔵する古文書を調査し概要目録を作成する。さらに、町で保管するべき蔵書の判別を行い、保管方法や活用方法を検討する。<br>(期待すること)町の歴史を探るうえで重要な文書の散逸を防ぐ。また、誰もが利用できるようにすることで、古文書を文化遺産として後代に伝えていくとともに、地域資源として活用するための基礎とする。         |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 文化財保護審議会等   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与<br>関連する個人や団体の紹介<br>その他必要と思われること  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |           |            |  |
|--------------|-----------|------------|--|
| 大学           | 静岡文化芸術大学  | 学部等        | 文化政策学部   |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 西田かほる・水谷悟 | 連絡先 E-mail | <a href="mailto:nishida@suac.ac.jp">nishida@suac.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 教育委員会 社会教育課  |
| 電話番号    | 0547-58-7080   |
| E-mail  | <a href="mailto:shakai-kyouiku@town.kawanehon.lg.jp">shakai-kyouiku@town.kawanehon.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 中村 靖久  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                    |      |      |
|--------|--------------------|------|------|
| 自治体名   | 川根本町               | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 家庭や地域にある果樹を用いた地域創生 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 川根本町では、茶との複合経営作物として、ゆずの栽培が行われており、近年、増加傾向にある。<br>これ以外に、町内の圃場内や家庭の庭先などには、様々な種類の果樹が植えられており、その中には、美味しいもの、地域的に珍しいものも見受けられるが、販売はおろか、自家消費もされていないものが多い。   |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民がこれらの果樹を地域資源として認識するための仕掛け</li> <li>・住民が日常の家庭での食や地域の暮らしを振り返り、大切にするための仕掛け</li> <li>・これらの果樹を活用した交流人口の増加に資する研究</li> <li>・これらの果樹を活用した新商品開発や販売促進に資する研究</li> </ul> |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 各家庭、自治会、まちづくり関係団体、農業関係団体 など   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与<br>関連団体、個人の紹介<br>宿泊施設の斡旋 など  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |                          |               |  |
|--------------|--------------------------|---------------|--|
| 大学           | 静岡大学                     | 学部等           | 農学部  |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 園芸イノベーション学研究室<br>(松本 和浩) | 連絡先<br>E-mail | <a href="mailto:matsumoto.kazuhiro@shizuoka.ac.jp">matsumoto.kazuhiro@shizuoka.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 企画課 まちづくり推進室   |
| 電話番号    | 0547-56-2221   |
| E-mail  | <a href="mailto:kikaku@town.kawanehon.lg.jp">kikaku@town.kawanehon.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 笹木 一則  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                     |      |      |
|--------|---------------------|------|------|
| 自治体名   | 島田市                 | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 住民主体による公園整備のデザインの提案 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | <p>川根町は島田市の中山間に位置する地区である。町内にある7箇所の公園のうち6箇所には遊具等の設置がなく、残る1箇所についても老朽化により遊具が使用できない状態である。地区外の遊具のある公園へは車で30分程度の移動を要する。『遊びたくなる公園』が地区内にないことは、これからの子育て世帯にとって大きな課題である。</p> <p>そこで既存の公園の活用について、住民による自作遊具等のデザインを含めた魅力ある公園の空間プランの提案を依頼したい。</p>      |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <p>・公園の空間デザインの提案<br/>公園内のゾーニングや配置による『遊びたくなる公園』の空間デザインの提案を依頼したい。</p> <p>・子供たちが遊びたくなる自作遊具のデザイン提案<br/>地域住民が主体となって製作できる遊具のデザイン提案を依頼したい。材料は丸太等の木材やタイヤなどの廃材等、地域内で入手しやすく加工しやすいものが望ましい。</p> <p>提案内容を参考に、今後の住民主体による公園・遊び場の整備について検討したいと考えている。</p> |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | <p>川根小学校<br/>川根小学校コミュニティスクール実行委員会<br/>川根町青年団<br/>NPOまちづくり川根の会</p>   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 町内の案内、会議室の貸与、団体の紹介  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |  |            |  |
|--------------|--|------------|--|
| 大学           |  | 学部等        |  |
| ゼミ・団体名(担当教員) |  | 連絡先 E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|            |  |
|------------|--|
| 所属(課、係)    | 川根地域総合課 地域総合係  |
| 電話番号       | 0547-53-4580   |
| E-mail     | <a href="mailto:kawane-sisyo@city.shimada.lg.jp">kawane-sisyo@city.shimada.lg.jp</a> |
| 2年度担当者(予定) | 鈴木 秀紀  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                             |      |      |
|--------|-----------------------------|------|------|
| 自治体名   | 島田市                         | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 観光資源である蓬萊橋周辺の水環境改善に向けた方策の研究 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 島田市が観光資源として蓬萊橋に観光客を呼び込む事業を進めて以来、大井川の水に関する色や臭い、いわゆるミズワタの発生に対する苦情が絶えない。主に上流にある製紙工場からの排水と河川表流水の水量低下が原因と見られているが、環境法令に定められた規制基準値上は問題ないため、操業規制は行えず、また大規模な改善事業を行うことが難しい。現在、国と製紙工場では重機で水の流れを一時的に変える「瀬替え」という工事により対応しているが、時間と費用がかかる上に効果も一時的なもののため、他にも取れる抜本的な対策がないか検討が必要である。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 一級河川の水質向上のために民・産・学・官が連携して、科学的な知見と根拠のもと、効果的な解決方法があるかどうかを模索していけるようになること。  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 新東海製紙(株)、国土交通省静岡河川事務所(島田出張所)、蓬萊橋土地改良区   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与、関連団体の紹介、過去の写真やデータの提供   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|            |                           |
|------------|---------------------------|
| 所属(課、係)    | 環境課 環境係                   |
| 電話番号       | 0547-36-7145              |
| E-mail     | kankyo@city.shimada.lg.jp |
| 2年度担当者(予定) | 渥美                        |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                        |      |      |
|--------|------------------------|------|------|
| 自治体名   | 菊川市                    | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 小・中学生の地域での防災活動(訓練)への参画 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 災害時において、小・中学生の防災活動が地域に関わる貢献については、過去の災害においても、多くの地域で報告されている。<br>平時より、小・中学生が地域の防災訓練に参加し、役割を与えることによって、災害時においても小・中学生が主体的に防災活動を行うきっかけになると考えるが、現状は菊川市内の各地区での自主防災会による訓練において、自主防災間で小・中学生の訓練内容に差があるため、市全域でより良い内容の訓練が行われるようにしていきたい。                          |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 小・中学生の年齢に合わせて地域でできる防災訓練や、災害時においてもどのようなことができるのかを調査研究していただきたい。また、可能であれば訓練日に地域の訓練に参加するなど、直接指導していただきたい。<br>研究結果での有効と思われる取り組みについては、今後菊川市内において広めていきたいと考えている。<br>なお、令和2年8月30日に開催される令和2年度静岡県・御前崎市・菊川市総合防災訓練は、菊川市が会場となっているため、訓練の見学や参加について、ご希望があればご相談に応じます。 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 自主防災会、菊川市防災士会、菊川市教育委員会、加茂地区防災女性の会   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与、教育委員会や小中学校との連絡調整、市が発行する防災に関するリーフレット、ハザードマップの提供   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 危機管理課防災対策係   |
| 電話番号    | 0537-35-0923   |
| E-mail  | <a href="mailto:kikikanri@city.kikugawa.shizuoka.jp">kikikanri@city.kikugawa.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 高木 俊   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

一次締切:1月28日(火)二次締切 2月28日(金)

|        |                        |      |      |
|--------|------------------------|------|------|
| 自治体名   | 掛川市                    | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 掛川手織葛布の情報発信に向けた若者からの提言 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 掛川市の伝統工芸品である手織葛布(静岡県知事指定郷土工芸品)の生産は他産業の生産技術の進歩や社会構造の変化によって減少し、最盛期には40~50軒あった手織葛布商が、今では2軒となっている。<br>伝統的な技術の継承が危ぶまれ、郷土工芸品の消滅に直面している状況を、若者目線の独自のアイデアにより打開したい。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 手織葛布を作る職人が高齢化しており、情報発信やプロモーションがうまくできない状況である。若い人達が伝統工芸に興味を持つ情報発信やプロモーションの仕方について、若者目線で調査研究してもらいたい。  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 掛川市<br>掛川葛布事業協同組合<br>一般社団法人 中東遠タスクフォースセンター<br>達人に学び伝える会(掛川市市民団体)<br>その他、関係団体  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与<br>関連団体との調整や連絡<br>報道機関へのプレスリリース<br>その他、要望に応じて対応  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 産業経済部産業労働政策課 創業・労政係  |
| 電話番号    | 0537-21-1125   |
| E-mail  | <a href="mailto:sangyo@city.kakegawa.shizuoka.jp">sangyo@city.kakegawa.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 市川 義光  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                           |      |      |
|--------|---------------------------|------|------|
| 自治体名   | 浜松市                       | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 浜松市天竜区佐久間町における地域づくりの方策の研究 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | <p>浜松市の中山間地域である天竜区佐久間町は、高齢化率が60%を超え、地域の賑わいや活力の低下等、過疎地域特有の課題を抱えているところである。</p> <p>静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科の船戸ゼミでは、平成25年度から浜松市の中山間地域の研究を専門に行い、佐久間町の調査は、平成27年度から開始した。フィールドワークを通じて、地域の課題解決に取り組んでおり、その中で、出身者(他出子)が継続的に地域に帰郷し、買い物や行事への参加等により家族や地域を支援している実態がみえてきた。</p> <p>人口減少や高齢化等により地域機能の維持が困難になっている地域にとって、課題解決のためには、こうした出身者の存在が重要であるが、行政だけでは出身者の把握等が難しいため、今後も大学の協力が必要である。</p> |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <p>出身者が家族や地域を支えている実態はあるものの、個人で支援しているものが多く、地域全体まで広がっていく仕組みがない。そのため、調査対象を出身者まで広げ、今後の地域との関わり方について研究を行い、出身者同士がつながりを持って継続的に地域を支えていける仕組みがつけられることを希望する。</p> <p>船戸ゼミでは、令和元年度に佐久間町のイベント「フェスタさくま」において佐久間町出身者を対象とした「佐久間ホームカミングデー」の企画を実施し、出身者同士のネットワークづくりの動きが始まっている。</p> <p>このネットワークを活用して、出身者と地域住民が協力して継続的に地域活動を実施する等、課題解決の新たな可能性が見出されることを期待する。</p>                              |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市佐久間協働センター</li> <li>・佐久間地区自治会連合会</li> <li>・浜松山里いきいき応援隊</li> <li>・地域づくり団体(NPO法人がんばらまいか佐久間 等) など</li> </ul>  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <p>市や市が委嘱する浜松山里いきいき応援隊が、静岡文化芸術大学の船戸ゼミと佐久間の自治会や地域づくり団体(NPO法人等)との橋渡しやフィールドワークを適宜サポートをすることで、円滑に調査・研究が行われるよう支援する。必要に応じ、協働センターの会議スペース等を無償貸与する。</p>  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |          |           |  |
|--------------|----------|-----------|--|
| 大学           | 静岡文化芸術大学 | 学部等       | 文化政策学部   |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 船戸 修一    | 連絡先E-mail | <a href="mailto:s-funa@suac.ac.jp">s-funa@suac.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 市民部 市民協働・地域政策課 中山間地域グループ   |
| 電話番号    | 053-457-2243   |
| E-mail  | <a href="mailto:shiminkyodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp">shiminkyodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 山下 貴帆  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                                   |      |      |
|--------|-----------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 浜松市                               | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 春野町における民間口承文化財(昔話)の伝承による地域文化の保存継承 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | <p>天竜区には、数多くの有形無形の文化財が存在し、こうした地域資源は、地域への誇りとともに生活の潤いと質を向上させる力となる。区においては、これらを保存継承し地域の活性化につなげ、地域文化の豊かさを実感できる環境づくりが求められている。</p> <p>天竜区の中山間地において少子高齢化に伴う過疎化が進行する中、昔から地域に伝わる昔話(伝説)や家庭に受け継がれた昔話を継承できる人たちが数少なくなっており、地域に根差して語り継がれてきた無形の文化財を継承していくことが文化財保護の観点からも大きな地域課題となっている。</p> <p>そのため、現在まで引き継がれている口承文化財(昔話)としての地域文化である昔話を保存継承し、後世にこの土地に生きてきた人々の心と記憶の文化遺産を伝え残していかなければならない。</p> |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <p>地元住民から直接的に口承文化財としての昔話を調査聞き取り記録することにより、よりその学術的な価値が高くなるとともに、書籍にすることにより将来的においても地域の生活文化を正確に顧みることができる。</p> <p>また、この地域の人々の心の豊かさにも深く接することにより、その地域の特性や価値がより学術的にも明確に分析することができる。</p> <p>以上のことから、天竜区内・春野町全域を対象として、民間口承文芸(昔話)の採録調査を実施し、その保存、公開、継承を目指したい。</p>  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 春野町気田地区自治会及びふれあいサロン  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 自治会等への昔話採録調査の協力呼掛けや自治会館等の使用許可依頼<br>春野協働センターの市民協働スペース利活用等   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |                         |               |  |
|--------------|-------------------------|---------------|--|
| 大学           | 静岡文芸芸術大学                | 学部等           | 文化政策学部   |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 二本松ゼミ(伝承文化ゼミ)<br>二本松 康宏 | 連絡先<br>E-mail | <a href="mailto:y-niho@suac.ac.jp">y-niho@suac.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 春野協働センター (生涯学習グループ)  |
| 電話番号    | (053)989-0200  |
| E-mail  | <a href="mailto:hr-kyodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp">hr-kyodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp</a> |
| 2年度担当者  | 岡村 真里子   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                |      |      |
|--------|----------------|------|------|
| 自治体名   | 静岡県            | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 港湾浚渫物の有効利用について |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | <p>田子の浦港は地域の物流や災害時の防災機能を有する重要な社会インフラであるが、港湾機能を維持するためには年間約5万m<sup>3</sup>の浚渫工事を継続して行なう必要がある。浚渫土は処分しなければならないが、当港の浚渫土は含水比が非常に高く泥土化しているのが特徴で、その処理方法が課題となっている。</p> <p>現在当港では、浚渫土を分級脱水処理をした上で最終処分を行っているが、その過程で生成される脱水ケーキ(シルト・粘土分)については引き取り先がなく、処分に多大な費用を要することから、コスト縮減や様々な有効活用方法の研究開発が求められている。</p> |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <p>脱水ケーキの処分コスト削減の一つの方法として緑化や農業目的の方法が考えられる。そこで、脱水ケーキの成分分析等を行い、その特性を踏まえた有効性を裏付ける実証データの調査研究を希望する。</p> <p>脱水ケーキの新規用途が明らかになり、新たな需要が生まれ、その有効利用が図られるとともに、課題である脱水ケーキの処分コストが縮減されることを期待する。</p>  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            |   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <p>試験に用いる脱水ケーキの提供、試験地として県有地を使用する場合の連絡調整や申請等の支援</p>  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |                        |               |   |
|--------------|------------------------|---------------|---|
| 大学           | 静岡大学                   | 学部等           | 農学部生物資源科学科  |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 持続可能型農業科学研究室<br>(南雲俊之) | 連絡先<br>E-mail | <a href="tel:054-238-4832">054-238-4832</a><br><a href="mailto:nagumo.toshiyuki@shizuoka.ac.jp">nagumo.toshiyuki@shizuoka.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 交通基盤部 田子の浦港管理事務所 整備課   |
| 電話番号    | 0545-33-0498   |
| E-mail  | <a href="mailto:tago-seibi@pref.shizuoka.lg.jp">tago-seibi@pref.shizuoka.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 石原 彬朗  |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |   |      |      |
|--------|---|------|------|
| 自治体名   | 静岡県                                     | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 男女共同参画の視点から地域活動(防災・自治会等)を活性化させるための方策の研究 |      |      |

| 課題の概要(背景や理由等)                 | <p>急速な少子高齢化が進む中、社会の維持には、経済活動をはじめあらゆる分野で女性の活躍が期待され、「誰もが個性を活かし能力を発揮できる男女共同参画社会」の実現が不可欠となっている。特に、身近な暮らしの場である地域での男女共同参画の推進は、地域の課題解決力を高め、持続可能な社会の構築につながることから重要である。</p> <p>しかし、現状は、男性が優遇と感じる県民の割合が高く(男性優遇46.9%、平等25.9%、女性優遇8.4%(R2男女共同参画県民意識調査))、自治会長の女性割合も全国より低い(ため、男女共同参画に向けた取組を進める必要がある。</p> <p>自治会長に占める女性の割合(内閣府都道府県別全国女性の参画マップより)</p> <table border="1"> <caption>自治会長に占める女性の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1.2</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1.4</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1.3</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1.6</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1.7</td> <td>5.7</td> </tr> </tbody> </table> | 年度  | 県 | 全国 | H26 | 1.2 | 4.7 | H27 | 1.4 | 4.9 | H28 | 1.3 | 5.2 | H29 | 1.6 | 5.4 | H30 | 1.7 | 5.7 |
|-------------------------------|---|-----|---|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 年度                            | 県   | 全国  |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| H26                           | 1.2   | 4.7 |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| H27                           | 1.4   | 4.9 |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| H28                           | 1.3   | 5.2 |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| H29                           | 1.6   | 5.4 |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| H30                           | 1.7   | 5.7 |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <p>県内地域での男女共同参画(女性の参画)が進まない要因を自治会等地域活動団体への聞き取り等により調査分析し、課題解決のための要件整理をお願いしたい。また、地域における男女共同参画を進めるために必要な効果的な啓発、支援方法等を提案いただきたい。</p> <p>県では、調査結果の内容を今後の地域における男女共同参画推進施策に反映し、取組を進めたい。</p>   |     |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 自治会、自主防災組織、市町等  |     |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与(県庁)、自治体の紹介   |     |   |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |  |            |  |
|--------------|--|------------|--|
| 大学           |  | 学部等        |  |
| ゼミ・団体名(担当教員) |  | 連絡先 E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 男女共同参画課  |
| 電話番号    | 054-221-3122   |
| E-mail  | <a href="mailto:danjyo@pref.shizuoka.lg.jp">danjyo@pref.shizuoka.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 岩ヶ谷 幸子   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                         |      |      |
|--------|-------------------------|------|------|
| 自治体名   | 静岡県行政書士会                | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 外国人住民との共生社会をどのように構築するか。 |      |      |

|                               |                        |
|-------------------------------|------------------------|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 外国人国別の国民性の理解           |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 互いの文化、国民性、価値観の理解、権利の尊重 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 静岡県行政書士会               |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 可能な限りの情報提供             |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 静岡県行政書士会 理事(国際委員会 委員長)   |
| 電話番号    | (054)254-3003  |
| E-mail  | <a href="mailto:shizuoka@sz-gyosei.jp">shizuoka@sz-gyosei.jp</a> |
| 2年度担当者  | 沖 大  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

一次締切:1月28日(火)二次締切 2月28日(金)

|        |                           |      |      |
|--------|---------------------------|------|------|
| 自治体名   | 公益財団法人静岡県舞台芸術センター (SPAC)  | 課題区分 | 自由課題 |
| 課題タイトル | 舞台芸術公園の舞台芸術のテーマパークとしての可能性 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 日本平の中腹にある舞台芸術公園は劇場、稽古場施設を有し、SPAC—静岡県舞台芸術センターの専用施設として1997年より運用されている。舞台創造のための機能を備えた施設であると同時に自然公園として季節の自然を楽しむ場所でもある。近年、日本平山頂の再開発などで日本平全域の交通量も増えてきており、舞台芸術に関するテーマパーク的な存在の可能性を検討したい。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 舞台芸術のテーマパークとしてどういうコンテンツや見せ方が有効なのか、対外的なアピールの方法など課題を検討。   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 静岡県庁、静岡市役所、日本平動物園、日本平ホテルなど。   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 休憩所でのゼミ実施、施設や稽古などの見学、関連団体の紹介等   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 芸術局  |
| 電話番号    | 054-203-5730   |
| E-mail  | <a href="mailto:narushima@spac.or.jp">narushima@spac.or.jp</a> |
| 2年度担当者  | 芸術局長 成島洋子  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

一次締切:1月28日(火)二次締切 2月28日(金)

|        |                   |      |      |
|--------|-------------------|------|------|
| 自治体名   | 静岡トヨタ自動車株式会社      | 課題区分 | 指定課題 |
| 課題タイトル | 若者のライフスタイルとクルマの未来 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 自動車業界では、100年に1度の大変革期と言われ、「MaaS」という言葉を目にする機会が多くなってきた。<br>「若者のクルマ離れ」やクルマの「所有」から「シェア」への意識変化など様々なことが激変する中、学生とともに「クルマ」を通じた地域活性化活動を行っていく。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 「クルマ」に関する意識調査を通じ、若者にどのように「クルマ」に興味を持ってもらい、それを「地域貢献」にどのように活かしていくか検証<br>「クルマ」を通じた「地域資源」の再発掘・再発見  |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | ・静岡トヨタ自動車株式会社<br>・必要に応じ、遠鉄グループ各社に相談も可能  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | ・当社店舗の視察<br>・トヨタ車の車両手配<br>・当社会議室の無償貸与<br>・業界動向、自社の現状・課題等のレクチャー、ディスカッション   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |                           |               |   |
|--------------|---------------------------|---------------|---|
| 大学           | 常葉大学                      | 学部等           | 経営学部  |
| ゼミ・団体名(担当教員) | 小豆川ゼミ<br>(経営学部 准教授 小豆川裕子) | 連絡先<br>E-mail | <a href="tel:054-297-6202">054-297-6202</a><br><a href="mailto:shozugaway@sz.tokoha-u.ac.jp">shozugaway@sz.tokoha-u.ac.jp</a> |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 静岡トヨタ自動車株式会社 経営企画部 経営企画課   |
| 電話番号    | 054-264-7015   |
| E-mail  | <a href="mailto:toshiya_kawata@shizuokatoyota.entetsu.co.jp">toshiya_kawata@shizuokatoyota.entetsu.co.jp</a> |
| 2年度担当者  | 川田 稔也  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

一次締切:1月28日(火)二次締切 2月28日(金)

|        |   |      |      |
|--------|---|------|------|
| 準会員名   | 日本経済新聞社                                   | 課題区分 | 自由課題 |
| 課題タイトル | 対面営業とデリバリー機能を備えた地域ステーションとしての新聞販売店の可能性について |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | ①新聞販売店は部数減、折込減、労務難の三重苦で経営が苦しいと言われる。<br>②他にはない対面営業、デリバリーという強い機能がある。<br>③地域住人に求められるコミュニケーションへの対応が課題。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 世の中のデジタル化の中で新聞販売店のDX(デジタルトランスフォーメーション)による可能性を探りたい。   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 静岡県日経会(日本経済新聞取扱販売店会)   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 静岡県日経会会員の紹介<br>会議室の貸与  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |  |            |  |
|--------------|--|------------|--|
| 大学           |  | 学部等        |  |
| ゼミ・団体名(担当教員) |  | 連絡先 E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 日本経済新聞社 販売局第2部   |
| 電話番号    | 080-8128-4941  |
| E-mail  | <a href="mailto:goro.takeda@nex.nikkei.com">goro.takeda@nex.nikkei.com</a> |
| 2年度担当者  | 竹田悟朗   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                             |      |      |
|--------|-----------------------------|------|------|
| 準会員名   | 日本経済新聞社                     | 課題区分 | 自由課題 |
| 課題タイトル | 学生と企業のミスマッチをなくす魅力的な就職活動のあり方 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | ①就職協定の形骸化に伴う就職活動の早期化、長期化。<br>②SNSによるコミュニケーションのデジタル化。<br>③ミスマッチによる離職率の向上。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 学生、企業双方が満足する魅力的な就職活動、採用方法を模索してほしい。                                       |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 日本経済新聞社販売局   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与<br>企業の採用担当者の紹介  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 日本経済新聞社 販売局第2部   |
| 電話番号    | 080-8128-4941  |
| E-mail  | <a href="mailto:goro.takeda@nex.nikkei.com">goro.takeda@nex.nikkei.com</a> |
| 2年度担当者  | 竹田悟朗   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                               |      |      |
|--------|-------------------------------|------|------|
| 自治体名   | 富士市                           | 課題区分 | 自由課題 |
| 課題タイトル | 富士市内企業の人材不足解消のために行う効果的な施策について |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 富士市内企業では、人材不足の状況が続いている。この状況を改善するため、本市においてもインターンシップ支援事業や富士市合同企業面接会、企業PR動画など各種施策を行っているが、即効性のある改善に結びつくことが難しく、より効果的な事業実施方法について研究している。学生の意識調査を通して、本市における効果的な施策の検討を願いたい。                     |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士市出身で県外在学学生(大学、短大)のUターン就職に対する意識調査</li> <li>・Uターン就職が可能な県外在学学生(高校、短大、大学)の意識調査</li> <li>・富士市で現在行っている各種施策を含め、市内企業の人材不足の解消に繋がる効果的な方策の提案</li> </ul> |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 富士公共職業安定所、富士商工会議所、富士市商工会   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与、関連団体の紹介等  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 所属(課、係) | 産業経済部商業労政課雇用労政担当                     |
| 電話番号    | 0545-55-2778                         |
| E-mail  | sy-syogyou@div.city.fuji.shizuoka.jp |
| 2年度担当者  | 齋藤、林                                 |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                       |      |      |
|--------|-----------------------|------|------|
| 自治体名   | 富士宮市                  | 課題区分 | 自由課題 |
| 課題タイトル | 地方都市でのちょうどいい生活スタイルの研究 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 地方都市の特性に応じた、実践可能な新しい働き方等を研究し、富士宮でのちょうどいい暮らしを地域の魅力として表現したい。   |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの新しい働き方も含め、市域での働き方の具体例</li> <li>・地方都市での穏やかな暮らしに魅力を感じる対象者像</li> <li>・UIJターン希望者への有効なアプローチ手法</li> <li>・関係する人の流れを生み、地域の活力を維持するための方策など</li> </ul> |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 富士宮市役所関係各課、富士宮商工会議所ほか  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室の貸与、関係団体の紹介等  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 商工振興課 工業振興・労政係   |
| 電話番号    | 0544(22)1154   |
| E-mail  | <a href="mailto:shoko@city.fujinomiya.lg.jp">shoko@city.fujinomiya.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 北野 優斗  |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

一次締切:1月28日(火)二次締切 2月28日(金)

|        |                            |      |      |
|--------|----------------------------|------|------|
| 準会員名   | 日本経済新聞社                    | 課題区分 | 自由課題 |
| 課題タイトル | キャリア教育、グローバル教育における新聞の果たす役割 |      |      |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | ①キャリア教育の早期化、18歳成人、18歳選挙権付与。<br>②企業における即戦力としてのグローバル人材確保の要請。<br>③SNS社会の進行によるフェイクニュースの社会問題化。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | 教育現場において新聞が果たすことのできる役割を模索してほしい。   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 日本経済新聞社販売局<br>静岡県日経会(日本経済新聞取扱販売店会)  |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 静岡県日経会会員の紹介<br>会議室の貸与   |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|              |  |            |  |
|--------------|--|------------|--|
| 大学           |  | 学部等        |  |
| ゼミ・団体名(担当教員) |  | 連絡先 E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 日本経済新聞社 販売局第2部   |
| 電話番号    | 080-8128-4941  |
| E-mail  | <a href="mailto:goro.takeda@nex.nikkei.com">goro.takeda@nex.nikkei.com</a> |
| 2年度担当者  | 竹田悟朗   |

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

|        |                    |      |      |
|--------|--------------------|------|------|
| 自治体名   | 静岡市                | 課題区分 | 自由課題 |
| 課題タイトル | 井川地区における水耕栽培モデルの探索 |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等)                 | 井川地区では昔から農業が生業とされてきたが、農家の高齢化により畑作の継続が難しくなっている。農作物は井川の主な特産品として定着しており、地域として今後も売り出していきたいと考えているが、他地域との差別化ができずにいる。また、農業従事者を増やすことは、移住促進にもつながると考えている。<br>以上の理由から、露地栽培よりも管理の負担が少なく、収量が多い水耕栽培について井川でのモデルを探索したい。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること             | ・井川での水耕栽培に適した作物、栽培地の選定に係る調査研究<br>・井川ならではの独自性の掘り起こし(温泉水を使った栽培等)   |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等            | 井川振興会、井川農林産物加工センター、井川自治会連合会、井川観光協会 等   |
| ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 関連団体の紹介及び連絡補助、資料提供、会議室の貸与、宿泊施設の紹介  |

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

|                  |  |               |  |
|------------------|--|---------------|--|
| 大学               |  | 学部等           |  |
| ゼミ・団体名<br>(担当教員) |  | 連絡先<br>E-mail |  |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

|         |  |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 井川支所(住民生活係)  |
| 電話番号    | 054-260-2211   |
| E-mail  | <a href="mailto:ikawa@city.shizuoka.lg.jp">ikawa@city.shizuoka.lg.jp</a> |
| 2年度担当者  | 上治 祐佳子   |